

授業科目名	認知症の理解Ⅱ		科目コード	1031		
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学 年	2年	
担当教員	廣澤 三保子					
	実務経験教員（ ☒ ・ 無 ） 実務経験内容 看護師として病院勤務					
開講時期	前期・ ☒ 後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	30時間	
	☒ 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須			単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	最新・介護福祉士養成講座『認知症の理解』				
	著 者	中司 登志美 他介護福祉士養成講座編集委員会				
	出版社	中央法規出版株式会社				
使 用 テキスト2	書 名					
	著 者					
	出版社					
参考図書						
授業形態	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）					
<授業の目的・目標> 1. 介護福祉士に求められる認知症をめぐる医学的知識について学ぶ。特に、認知症の原因疾患の病態や症状について理解する。 2. 認知症の人の体験について学び、認知症が生活の様々な場面に影響を及ぼすことをふまえ、介護福祉士としてどのような環境を提供すべきについて考える。 3. 認知症高齢者を支える制度や国の対策について理解し、実際の現場でのケアを支える制度的枠組みのあり方について考える。						
<授業の概要・授業方針> 認知症についての基礎的知識を習得し、認知症患者の抱える心理的問題、日常生活に関する問題について学ぶなかで、認知症の進行に応じた関わり方やケアの展開について考える。また認知症高齢者が最期までその人らしい生活が送れるよう、多職種協働における介護職の役割について学ぶ。						
<成績基準・評価基準> ・ 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況（当該科目の年間出席時間数が履修すべき授業時間数の3分の2以上であること）から総合的に評価する。 ・ 後期試験において 評価基準：100点法で60点以上の成績、その他総合的な評価を含め合否判定する。						
<使用問題集・注意事項> 講義時に提示する 必要に応じて随時、資料を配布する。						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>						

授業科目名		認知症の理解Ⅱ
回	授 業 内 容	備 考
1	認知症の原因疾患（アルツハイマー型、血管性認知症など）	
2	認知症の原因疾患（アルツハイマー型、血管性認知症など）	
3	認知症の治療（薬物療法など）	
4	認知症の治療（薬物療法など）	
5	認知症の人の心理的理解	
6	認知症の人の心理的理解	
7	認知症の人の体験（「本人の声」に学ぶ）	
8	認知症の人の体験（「本人の声」に学ぶ）	
9	認知機能の変化が生活に及ぼす影響	
10	認知機能の変化が生活に及ぼす影響	
11	認知症の症状と環境の関係	
12	認知症の症状と環境の関係	
13	若年性認知症の人の生活の理解と支援	
14	若年性認知症の人の生活の理解と支援	
15	認知症の人へのかかわりの基本	
16	認知症の人へのかかわりの基本	
17	認知症の進行に応じた介護（初期・中期・後期・終末期）	
18	認知症の進行に応じた介護（初期・中期・後期・終末期）	
19	地域におけるサポート体制とチームアプローチ	
20	地域におけるサポート体制とチームアプローチ	
21	家族介護者へのレスパイトケア	
22	家族介護者へのレスパイトケア	
23	家族介護者へのエンパワメント	
24	家族介護者へのエンパワメント	
25	認知症対策と介護保険制度	
26	認知症対策と介護保険制度	
27	国による認知症施策の推進	
28	国による認知症施策の推進	
29	認知症の人の安心・安全をサポートする制度	
30	認知症の人の安心・安全をサポートする制度	